

様式2

令和5年度 評価計画及び自己評価

安浦中学校区 校番33 学校名 呉市立安登小学校

(計画・中間・最終)

<p>a 学校教育目標</p>	<p>ふるさとを愛し、 よりよい未来の創り手となる 児童の育成</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>〈ミッション〉 ○自校や郷土に誇りと愛着をもち、地域社会に感謝・貢献する児童生徒の育成 ○様々な人々と協働して、主体的に問題解決に取り組む児童生徒の育成 〈ビジョン〉 予測困難な時代に、小中一貫教育を通じてふるさとを愛し、よりよい社会を創るという目標を共有し、防災教育と地域に根ざした主体的な学びを推進し、地域と連携・協働しながら、未来の創り手として必要な資質・能力を育む。</p>
-----------------	---	------------------------------	--

<p>c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点</p>	<p>児童は落ち着いた学校生活を送っており、学力・体力ともに各調査において全国平均を概ね上回っている。今後は児童の主体性をさらに育成するため、自分たちの生活上の課題をもとに、自分たちで目標設定し、評価・改善できるような力を育成することが必要である。 今年度は、「イキイキ『アクティブ とライ』」を合言葉に、ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる児童を育成するため、以下のことを重点的に取り組む。 ・日々の授業改善及び逆向き設計シートの活用により、思考力・判断力・表現力を高める。 ・児童自らが主体的に判断したり、行動したりする自主性をもたせる。 ・「自分の命は自分で守る」力を育成するとともに、地域の防災に貢献する。 ・タブレットを効果的に活用するなど業務改善を行い、働きがいのある職場環境を実現する。</p>
-------------------------------------	---

<p>育成すべき資質・能力</p>	<p>知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 感謝・貢献</p>
-------------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから 1 (2)・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(1年間)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	目 標 値 % h	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★ 確かな学力	① 主体的・対話的で深い学びを実現し、確かな学力の向上を図る。(まなぶ)	思考力・判断力・表現力を高める。	○児童の考えを深めたり広げたりする手立て(発問の工夫・思考の型の活用・表現の仕方)や学び合いにより、思考を深める授業づくりを行う。 ○逆向き設計による単元づくりを学期に1回以上する。	国語科・算数科・理科の思考力・判断力・表現力を見取るテスト70%以上の児童の割合	75						
				パフォーマンス課題の成果物(ルーブリック)の3及び2評価の児童の割合	80						
		基礎・基本を定着させる。	○授業の中で習熟する時間を充実させるとともに、個別指導の時間(朝スタ・木スタ)を充実させる。 ○AIドリルを活用するなどして、各教科の基礎的基本的な内容の定着を図る。	国語科・算数科・理科の知識・技能を見取るテスト80%以上の児童の割合	75						
★★ 豊かな心	感謝と貢献の心を持ち、協働して取り組むことのできる心を育む。(はぐくむ)(つながる)	主体的に判断したり、行動したりする自主性をもたせる。	○児童自らが実態を把握し、学級・委員会等の単位で主体的に活動できるようにする。 ○逆向き設計による行事等の活動をし、目標を設定させる。	児童アンケートの学校生活に関する項目において「進んで取り組んでいる」と肯定的に回答した割合	80						
				行事等活動後のルーブリックによる3及び2評価の児童の割合	80						
★ 防災教育	② 「自分の命は自分で守る」力を育成するとともに、地域の防災に貢献する	「自分の命は自分で守る」力を育成し、保護者や地域の防災意識を高める。	○避難訓練の事前・事後指導を充実させる。また、事後指導において、保護者とともに防災について考える。 ○防災に関わる学習で学んだ内容を、他学年・保護者・地域等に伝える。	災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童の割合	90						
				自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童の割合	90						
業務改善	働き方改革を推進する。	働きやすい職場環境を実現する。	○授業準備の時間短縮を行う。 ○業務改善の工夫を意識し、情報共有を行う。 ○タブレットを効果的に活用する。	「児童と向き合う時間を確保している。」と感じる教職員アンケートの肯定的評価の割合	80						
				時間外勤務時間の月平均が45時間を越えない教職員の割合	60						

【k:自己評価 評価】  
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100  
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60